

科目名	予防指導 4							年度	2026
英語科目名	Preventive guidance 4							学期	後期
学科・学年	柔道整復科 3年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	加藤健太、後藤晃弘、有山敦士、秋田雄大、宮本功三、青木伊之、杉本知	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		

【科目の目的】

環境や行動を社会的に整え国民の健康を守る社会防衛機能としての保健医療活動を学ぶことも柔道整復師の責務の一つであるため、この科目を通して公衆衛生分野の知識を習得することを目的とします。

【科目の概要】

生活環境について学び、保健衛生行政機関の仕組みを理解します。

【到達目標】

予防指導は、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的健康と能率の増進をはかる科学・技術であり、学ぶ内容としては環境衛生、感染症予防、健康教育、医療・看護サービスによる疾病の早期診断と悪化防止、衛生行政、医療制度および社会保障などを重視しながら進める。環境を整え、傷病を予防し、健康の保持増進をはかるという知識を習得することが到達目標である。

【授業の注意点】

国民の健康に寄与する医療人の育成であることを重視する。全授業の出席を原則とする。正当な理由なき欠席・遅刻・早退は認めない。また、授業中の態度（私語・飲食・居眠り）には厳しく対応する。常に医療現場にて患者に適切な対応ができるマナーを身につけるような心掛けを求める。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力
到達目標 A	産業保健について完全に理解している。	産業保健について大体理解している。	産業保健について部分的には理解している。	産業保健について理解がやや不足している。	産業保健について理解していない。
到達目標 B	成人・高齢者保健について完全に理解している。	成人・高齢者保健について大体理解している。	成人・高齢者保健について部分的には理解している。	成人・高齢者保健について理解がやや不足している。	成人・高齢者保健について理解していない。
到達目標 C	精神保健について完全に理解している。	精神保健について大体理解している。	精神保健について部分的には理解している。	精神保健について理解がやや不足している。	精神保健について理解していない。
到達目標 D	地域保健・衛生行政・医療倫理について完全に理解している。	地域保健・衛生行政・医療倫理について大体理解している。	地域保健・衛生行政・医療倫理について部分的には理解している。	地域保健・衛生行政・医療倫理について理解がやや不足している。	地域保健・衛生行政・医療倫理について理解していない。
到達目標 E	疫学について完全に理解している。	疫学について大体理解している。	疫学について部分的には理解している。	疫学について理解がやや不足している。	疫学について理解していない。

【教科書】

使用教科書「衛生学・公衆衛生学」、その項目ごとに必要な資料をプリントとして配付する。

【参考資料】

【成績の評価方法・評価基準】

試験と課題を総合的に評価する。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		予防指導 4			年度	2026
英語表記		Preventive guidance 4			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	産業保健①	産業保健の目的について。	1 産業保健の3管理	作業環境管理、作業管理、健康管理について理解する。	3	
			2 関連法規の概要	労働基準法、労働安全衛生法について理解する。		
			3 労働災害の動向	業務上疾病について理解する。		
2	産業保健②	職業病とその対策について。	1 物理的環境因子	熱中症、減圧症、騒音性難聴、振動障害、放射線障害について理解する。	3	
			2 化学的な要因	一酸化炭素中毒、酸欠症、じん肺、職業がんについて理解する。		
			3 作業態様に起因する障害	頸肩腕障害、腰痛症、VDT作業者病について理解する。		
3	成人保健	生活習慣病の動向について。	1 がん	生活習慣による危険因子について理解する。	3	
			2 脳血管疾患	危険因子と後遺障害について理解する。		
			3 糖尿病	3大症状について理解する。		
4	高齢者保健	高齢者保健・福祉対策について。	1 後期高齢者医療制度	高齢者医療確保法について理解する。	3	
			2 認知症高齢者支援対策	寝たきり高齢者と廃用症候群について理解する。		
			3 介護保険	介護保険法と要介護認定について理解する。		
5	精神保健①	精神保健の定義と歴史について。	1 定義	精神保健福祉法について理解する。	3	
			2 歴史	精神病患者監護法、精神衛生法について理解する。		
			3 精神の病気①	統合失調症、心身症、不安障害、PTSDについて理解する。		
6	精神保健②	精神の病気②について。	1 認知症	アルツハイマー病と脳血管疾患について理解する。	3	
			2 気分障害	躁病とうつ病について理解する。		
			3 神経症	不安状態、対人恐怖について理解する。		
7	精神保健③	精神保健活動とその原則について。	1 三次予防	精神科デイケアについて理解する。	3	
			2 精神障害者の医療	法に定められた入院の方法について理解する。		
			3 精神保健福祉に関する医療費	通院医療費と入院医療費について理解する。		
8	振り返り	第1回～7回の講義の振り返り。	1 産業保健	3管理、労働災害、職業病について理解する。	3	
			2 成人高齢者保健	生活習慣病、介護保険について理解する。		
			3 精神保健	精神の病気、法に定める入院方法について理解する。		
9	地域保健と国際保健	地域保健・国際保健について。	1 地域保健とは	プライマリ・ヘルス・ケア、ヘルスプロモーションについて理解する。	3	
			2 地域保健活動	5疾病5事業、医療圏について理解する。		
			3 国際保健	世界保健機関、国際連合について理解する。		
10	衛生行政と保健医療の精度	衛生行政の考え方について。	1 保健所	設置者、事業について理解する。	3	
			2 保健医療従事者	届出医療関係者数について理解する。		
			3 医療保険	職域保険と地域保険について理解する。		
11	医療の倫理と安全の確保	公衆衛生活動の問題について。	1 医療倫理	医療倫理の四原則、世界医師総会について理解する。	3	
			2 医療の安全の確保	医療安全支援センター、医療事故調査・支援センターについて理解する。		
			3 用語の解説	医療事故、医療過誤、ヒヤリハット、危機管理について理解する。		
12	疫学①	疫学の意義について。	1 調査対象	全数調査と標本調査について理解する。	3	
			2 異常者数の把握	スクリーニング検査について理解する。		
			3 危険暴露人口の把握	人年法、有病率、罹患率、死亡率について理解する。		
13	疫学②	疫学の調査方法について。	1 記述疫学	因果関係とはについて理解する。	3	
			2 分析疫学	要因対照研究、症例対照研究について理解する。		
			3 エビデンスレベル	RCT、コホート研究について理解する。		
14	疫学③	調査結果の評価について。	1 バイアス	選択バイアス、情報バイアスについて理解する。	3	
			2 因果関係の判定	関連の強固性・一致性・時間性・特異性・整合性について理解する。		
			3 国際疾病分類	WHOが制定、分類体系について理解する。		
15	振り返り	後期第9回～14回の振り返り。	1 地域保健と国際保健	PHC、HP、医療圏について理解する。	3	
			2 衛生行政、医療倫理	保険制度、医療過誤について理解する。		
			3 疫学	スクリーニング、コホート研究、エビデンスについて理解する。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等